

令和4年度 第2回 茨木市都市計画審議会

都市計画マスタープラン改定 及び 立地適正化計画中間見直し に向けた取組について
資料編 ～市民意向調査の結果～

1. 調査概要	1
2. 設問	2
3. 回答者属性	3
4. 今後の定住意向について	4
5. 茨木市が推進するまちづくりについて	5
6. 市全体のまちづくりの取組について	6～10
7. 居住地域の満足度・期待度	11～12
8. 市民参画について	13
9. 市内で幸せや豊かさを感じる場所・場面	14～15
10. まちづくりに対する意見・アイデア	16～17

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

令和5年1月26日

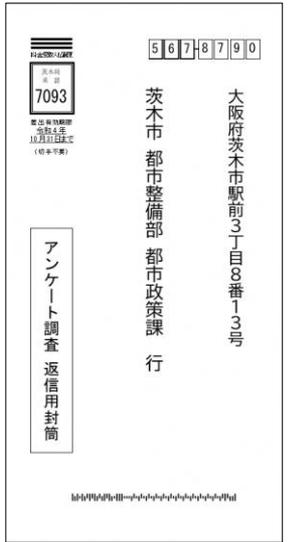
1. 調査概要

調査目的	茨木市内に居住する住民を対象として、現行都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の達成状況や地域の生活環境、土地利用や防災対策といった今後のまちづくりに関する意向など、計画改定に必要な意向を調査・把握することを目的として実施。
調査対象	茨木市内の居住世帯から、性別、年齢、各地域の世帯数比率を考慮して3,000世帯を抽出
調査期間	令和4年9月29日（木）～10月21日（金）までの1ヶ月
回収率	41.4%（1,242票回収／3,000票配布）

■送信用封筒



■返信用封筒



■調査票



全12問、8ページ
 ・回答時間は10～15分を想定
 ・WEB上でも回答可能な調査票の作成

■依頼文



有効回収数の確保に向けた取組
 ・調査票とは別に依頼文を作成し調査の趣旨・回答時間について説明
 ・実施主体が茨木市であることを明示

2. 設問

○現行計画策定時の調査内容をもとに、社会経済情勢の変化や近年策定された各種計画を踏まえた、設問・選択肢を設定。

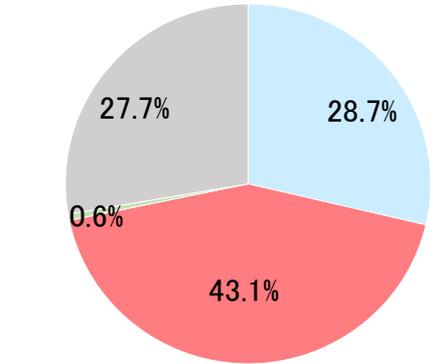
設問	設問内容(案)	備考/設問の狙い	
1. 回答者の属性	問1①	性別	・集計の際の分析軸。(年齢、住所等々による課題やニーズの違いを把握する)
	問1②	年齢	
	問1③	家族構成	
	問1④	職業	
	問1⑤	お住いの小学校区	
2. 定住意向	問2	居住歴	・地域別構想の検討に向けて定住意向や市内の住み替え意向を把握。
	問3	定住意向	
	問4	茨木市内に住み続けたい理由	
	問5	引越しを考える理由	
	問6-1①	阪急茨木市駅西口の再整備に対する認知度・期待度	
3. 茨木市が推進するまちづくりの認知度・期待度	問6-1②	JR茨木駅西口の再整備に対する認知度・期待度	・都市構造や施策の展開方針の検討に向けて、本市の拠点となりうるまちづくりについて市民の期待度を把握。
	問6-1③	阪急茨木市駅東口の病院誘致に対する認知度・期待度	
	問6-1④	新施設「おにクル」の建設に対する認知度・期待度	
	問6-1⑤	元茨木川緑地のリニューアルに対する認知度・期待度	
	問6-1⑥	メインストリートの魅力向上に向けた取り組みに対する認知度・期待度	
	問6-2①	安威川ダムの周辺の整備に対する認知度・期待度	
4. 市全体のまちづくりの取組について	問7	住環境の向上で重要な取り組み	・土地利用や都市基盤整理に対するニーズを把握することで分野別まちづくり方針を検討。
	問8	商業地にかかる重要な取り組み	
	問9	産業・工業地にかかる重要な取り組み	
	問0	道路の整備で重要な取り組み	
	問1	歩行空間の整備で重要な取り組み	
	問2	交通にかかる重要な取り組み	
	問3	農地・里山にかかる重要な取り組み	
	問4	公園・緑地にかかる重要な取り組み	
	問5	防災対策で重要な取り組み	
	問6	ウィズコロナ・アフターコロナにかかる重要な取り組み	
5. 居住地の満足度・期待度	問7	「お住まいの地域」における現状の満足度、今後の改善への期待度	・立地適正化計画の内容の検討に向けて居住地の現状とニーズを把握。
	問8	最寄り駅(よく使用する駅)にあったら良いと思う施設	
6. 市民参画	問9	市民がまちづくりに参加するために今後必要な取り組み	・「都市づくりやまちづくりの主体となる市民・民間との連携・協働」を検討。
	問0	まちづくりに対する参加意向	
	問1	市が主催・関係するまちづくりの参加にあたって期待すること	
7. 自由意見	問2	本市内で幸せや豊かさを感じる「場所・場面」	・自由意見から新たに計画に加える知見を得る。
	問3	まちづくりに対する意見・アイディア	

3. 回答者属性

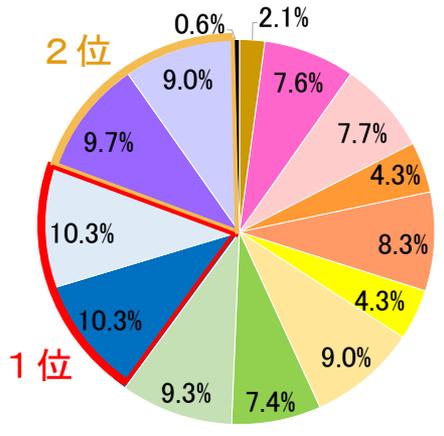
○性別は、「男性(28.7%)」「女性(43.1%)」。年齢は、「60代(20.6%)」が最も多く、次いで「70代以上(18.7%)」となった。
 ○居住地区別で見ると「中央圏域(23.8%)」が最も多く、次いで「地区南(22.2%)」となった。

回答者属性

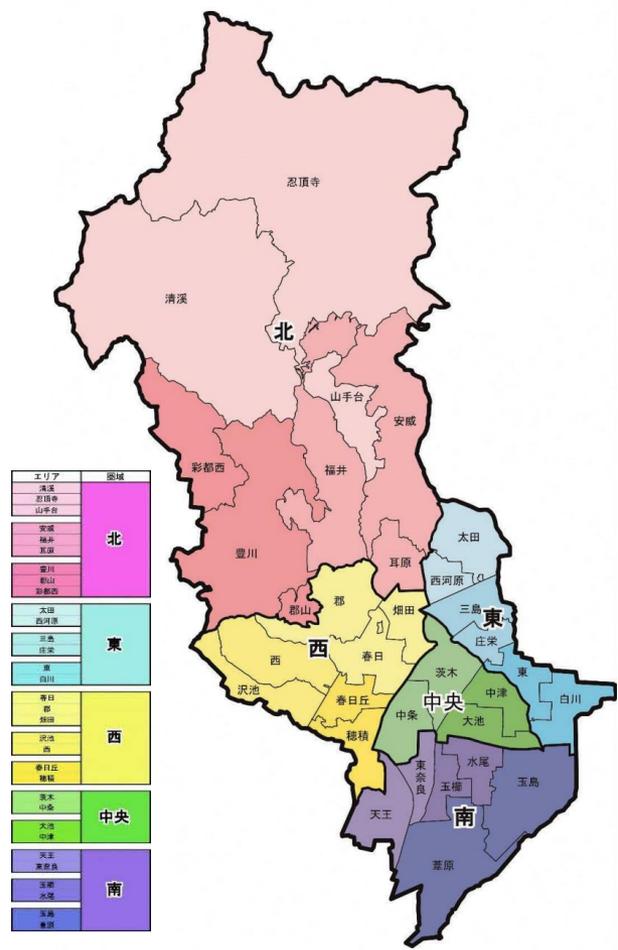
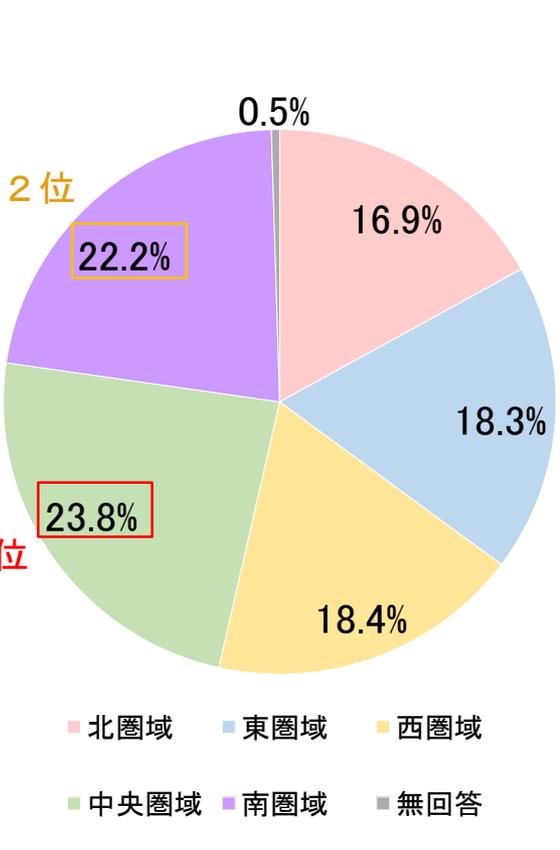
性別 (N = 1242)



年齢 (N = 1242)



圏域図



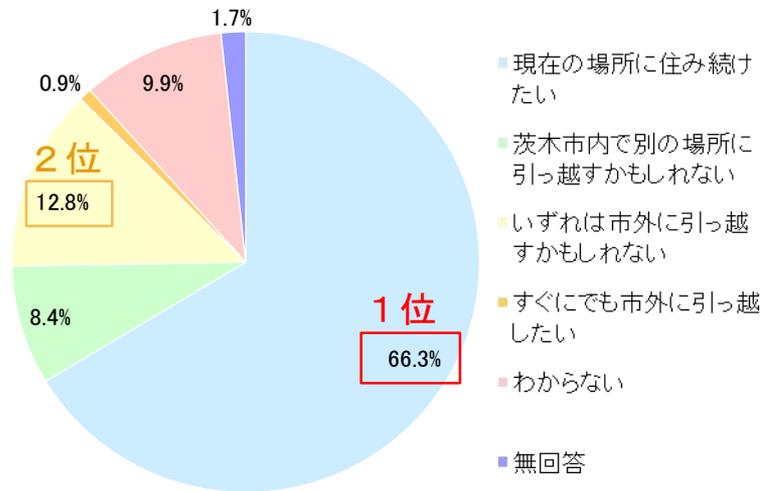
4. 今後の定住意向について

○定住意向については、「現在の場所に住み続けたい」が最も多く、次いで「いずれは市外に引っ越すかもしれない」となった。

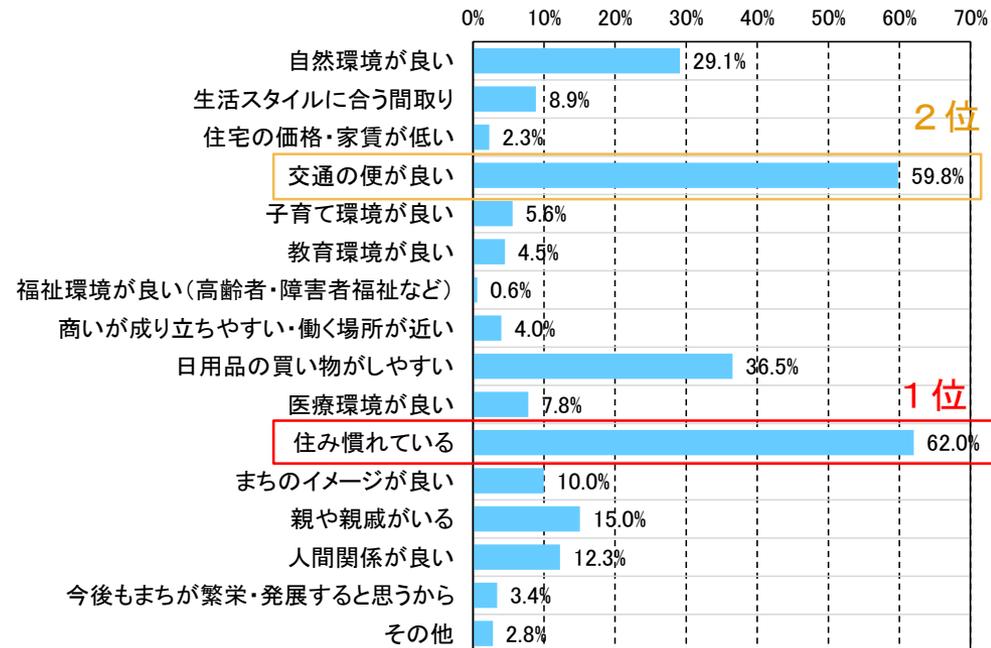
○住み続けたい理由として「住み慣れている」が最も多く、次いで「交通の便が良い」となった。

定住意向

定住意向 (N = 1242)



住み続けたい理由



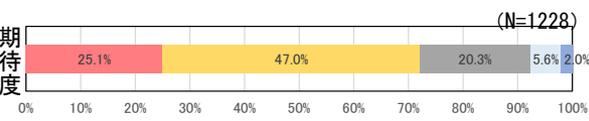
※回答数/回答者数 (N = 824)

5. 茨木市が推進するまちづくりについて

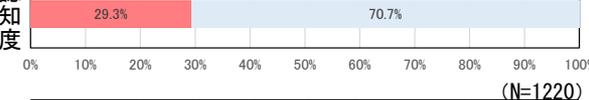
○茨木市が推進するまちづくりの認知度については、「市民会館跡地エリアのまちづくり(75.0%)」が最も高い。
 ○茨木市が推進するまちづくりの期待度については、「市民会館跡地エリアのまちづくり」の期待度が最も高く、「大いに期待する」と「期待する」を合わせて76.2%となった。また、「メインストリートの魅力化」の期待度も高い。

2コア

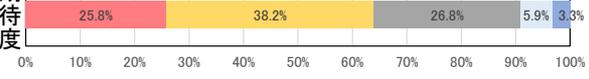
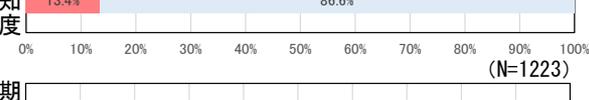
阪急茨木市駅西口の再整備 (N=1227)



JR茨木駅西口の再整備 (N=1219)



阪急茨木市駅東口(病院誘致) (N=1223)



○認知度

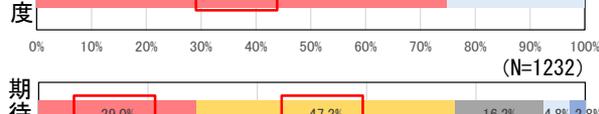
- 知っている (赤)
- 知らなかった (青)

○期待度

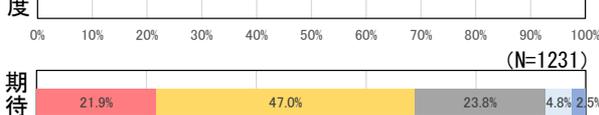
- 大いに期待する (赤)
- 期待する (黄)
- どちらでもない (灰)
- あまり期待しない (水)
- 期待しない (紺)

1パーク

市民会館跡地エリアのまちづくり (N=1226)



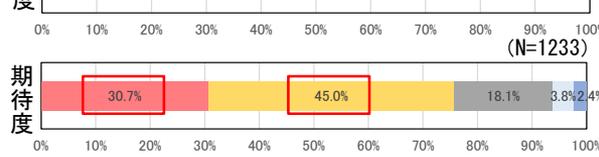
元茨木川緑地のリニューアル (N=1226)



※グラフには無回答のデータは含まれない

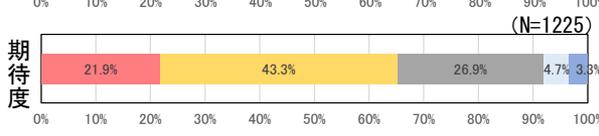
モール

メインストリート(中央通り・東西通り)の魅力化 (N=1225)



北部地域

安威川ダムと周辺整備 (N=1225)



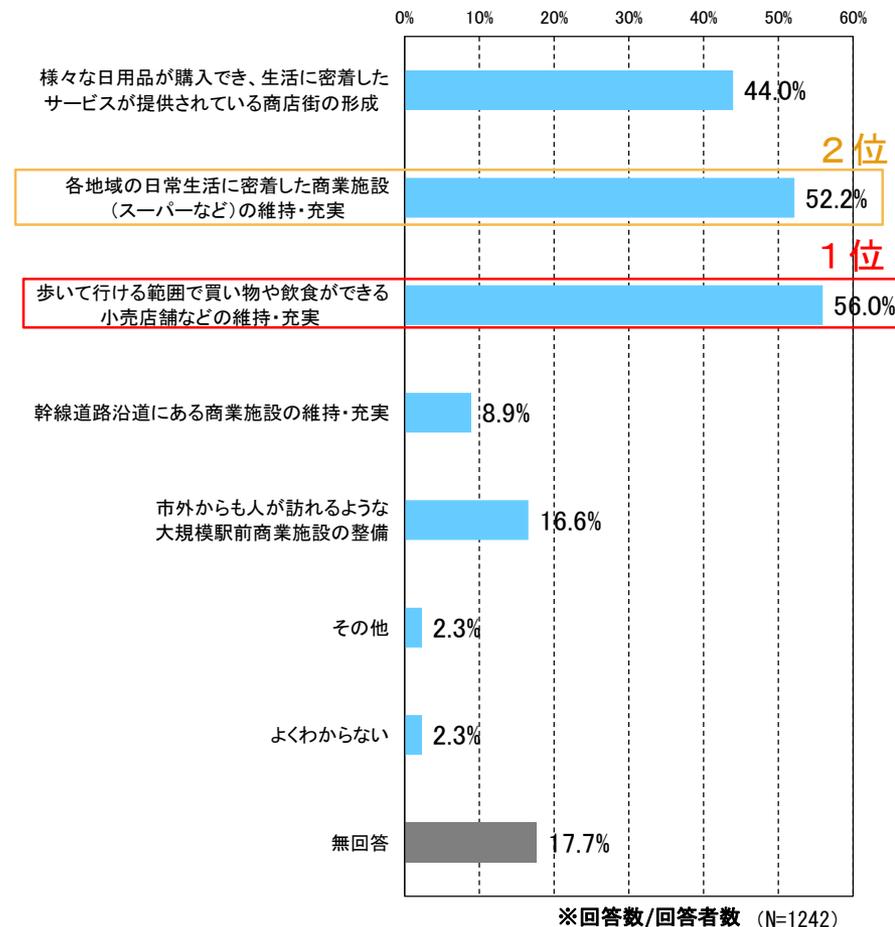
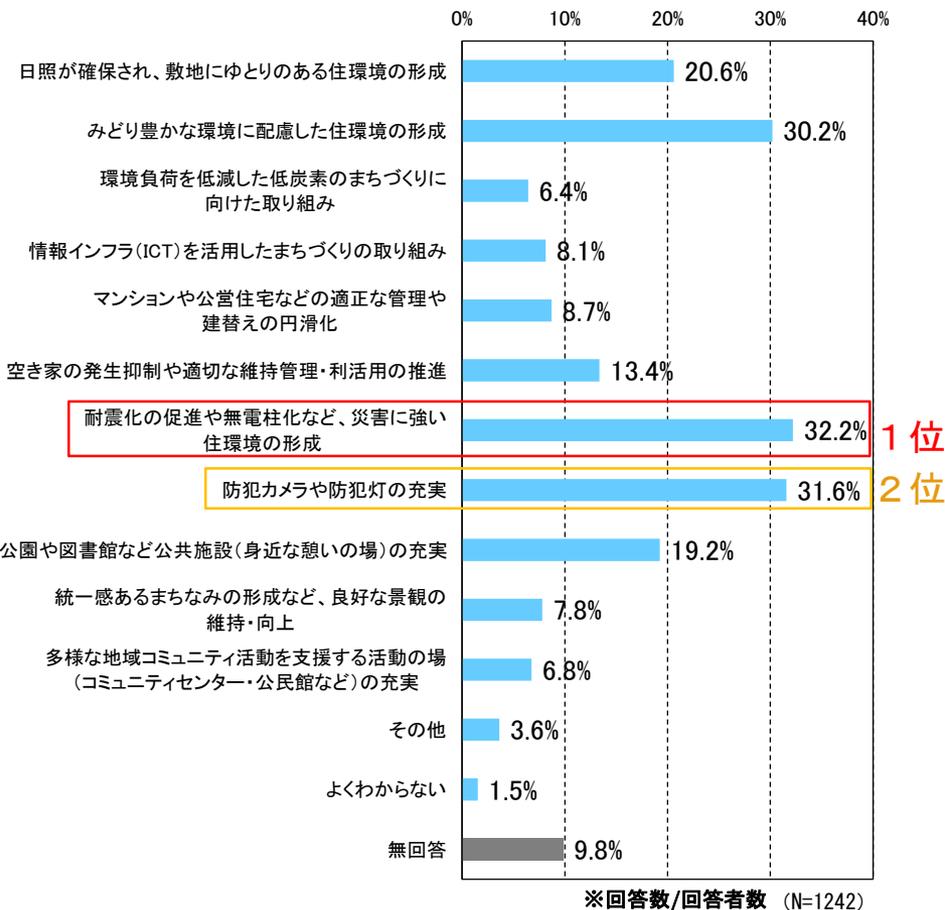
6. 市全体のまちづくりの取組について

住環境の向上で重要な取り組み

○「耐震化の促進や無電柱化による災害に強い住環境」が最も重視されており、次いで「防犯カメラや防犯灯の充実」となった。

商業地にかかる重要な取り組み

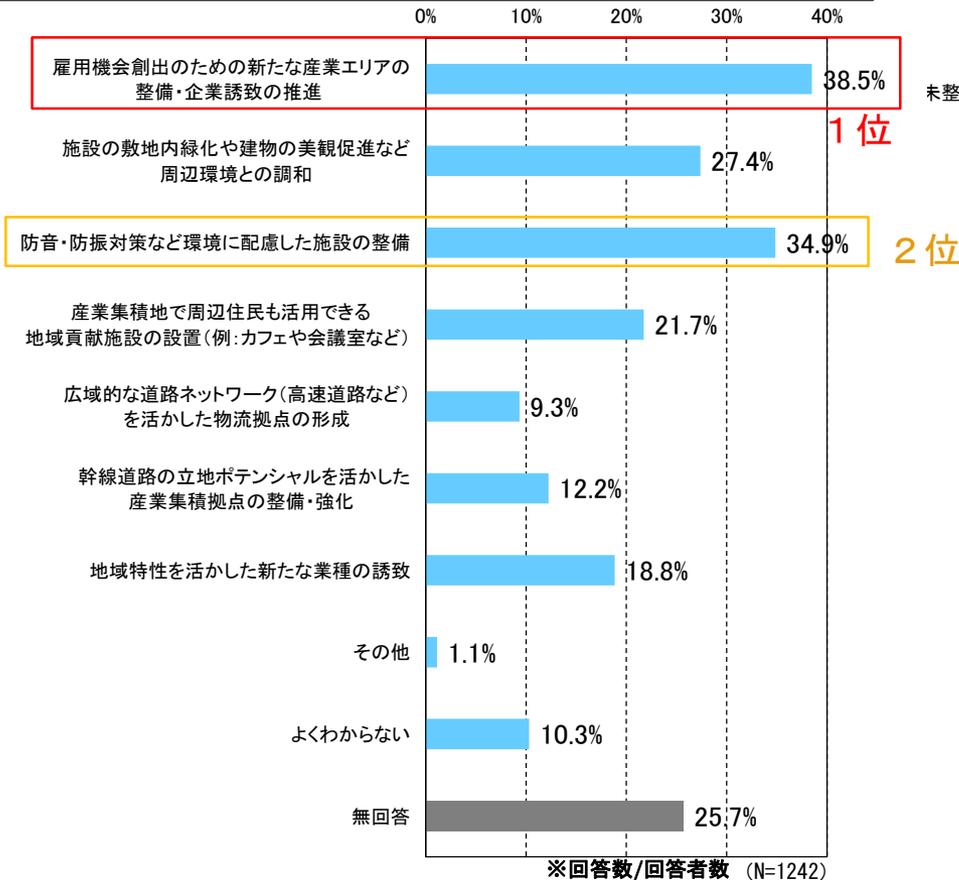
○「各地域の日常生活に密着した商業施設の維持・充実」が最も重視されており、次いで「歩行距離圏内の小売り店舗の維持・充実」となった。



6. 市全体のまちづくりの取組について

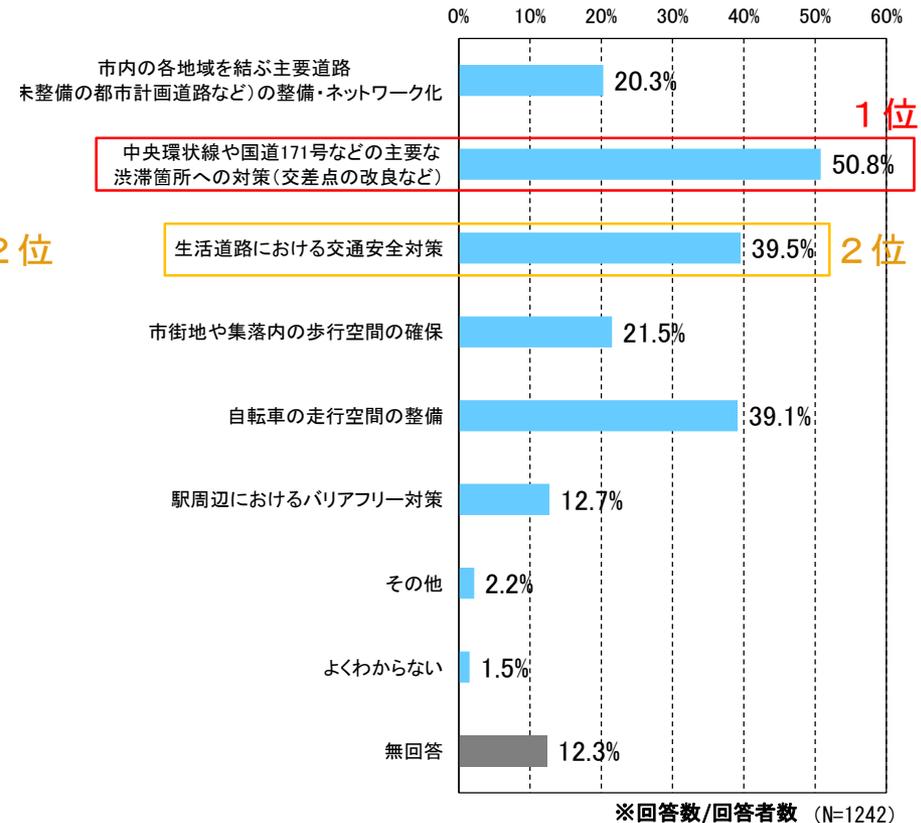
産業・工業地にかかる重要な取り組み

○「雇用機会の創出につながる産業エリアの整備、企業誘致」が最も重視されており、次いで「防音・防振対策など環境に配慮した設備の整備との調和」となった。



道路の整備で重要な取り組み

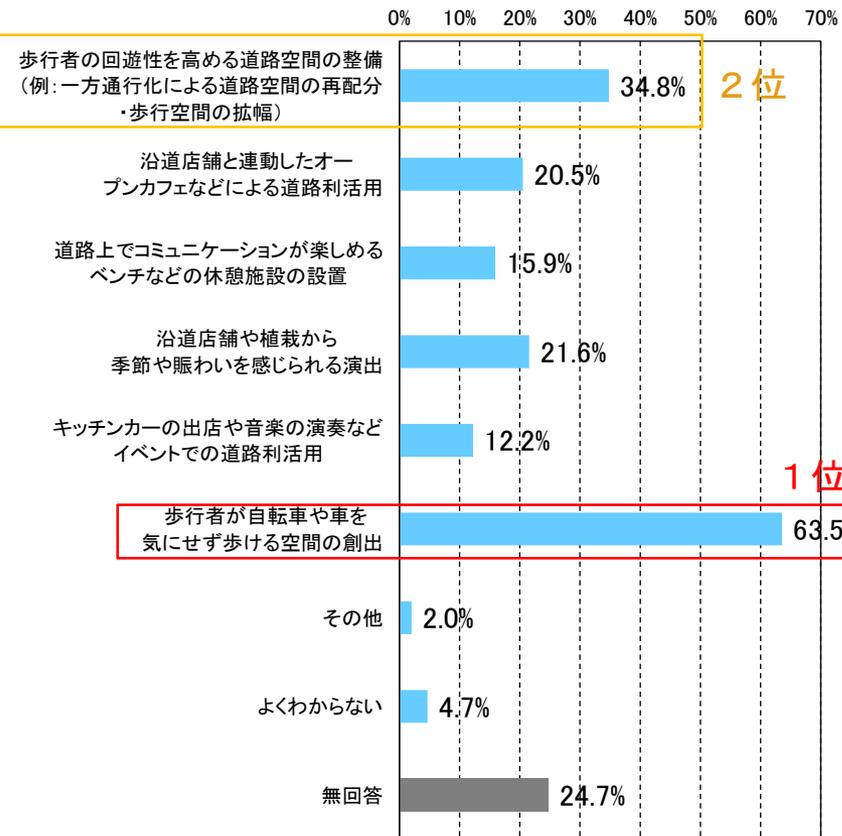
○「中央環状線や国道171号などの渋滞緩和」が最も重視されており、次いで、「生活道路における交通安全対策」となった。



6. 市全体のまちづくりの取組について

歩行空間の整備で重要な取り組み

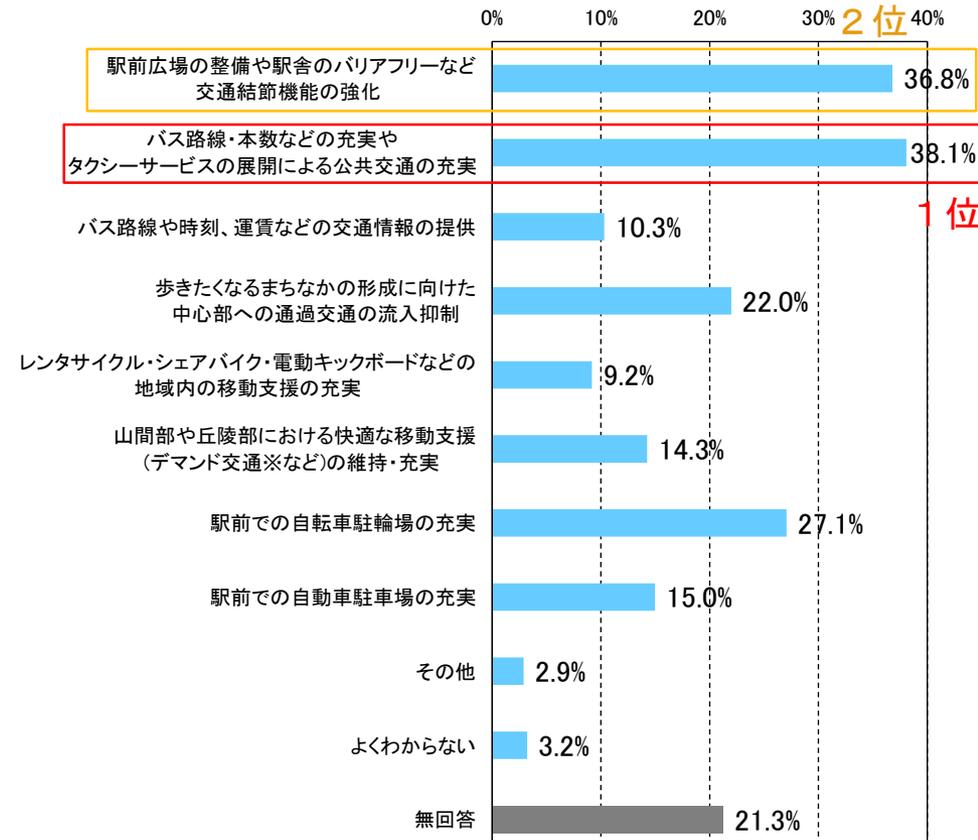
○「車を気にせず歩けるなどの歩行空間の安全性」が最も重視されており、次いで「歩行者の回遊性を高める道路空間の整備」となった。



※回答数/回答者数 (N=1242)

交通にかかる重要な取り組み

○「公共交通機関(バス・タクシーなど)の充実」が最も重視されており、次いで「駅舎のバリアフリー化などの公共交通結節点の強化」となった。

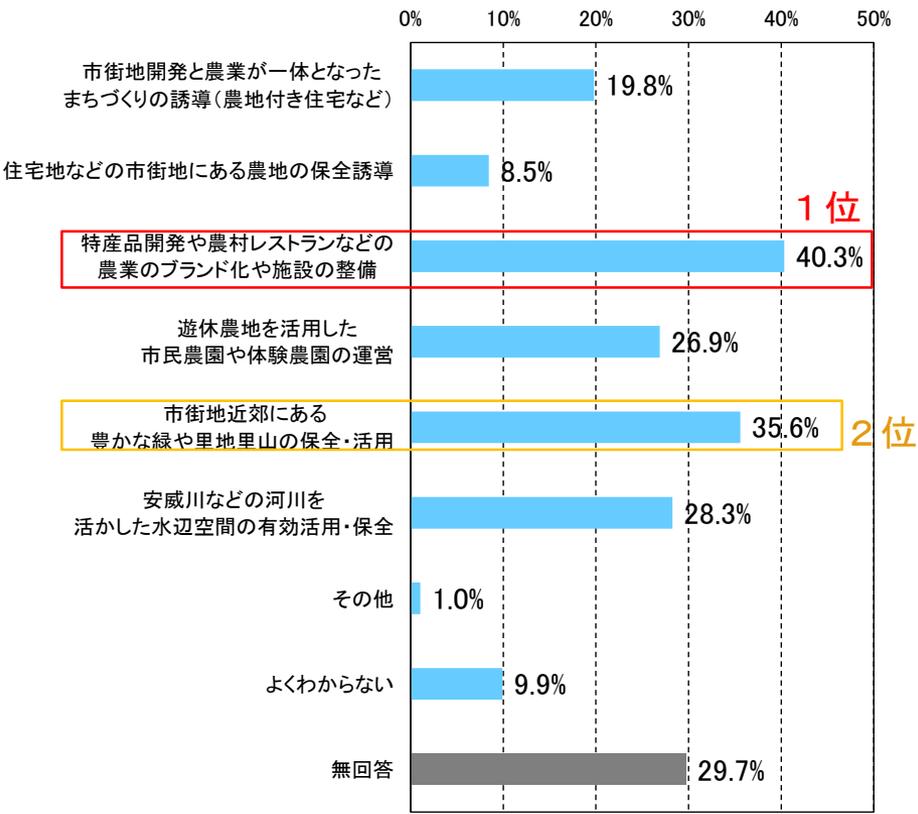


※回答数/回答者数 (N=1242)

6. 市全体のまちづくりの取組について

農地・里山にかかる重要な取り組み

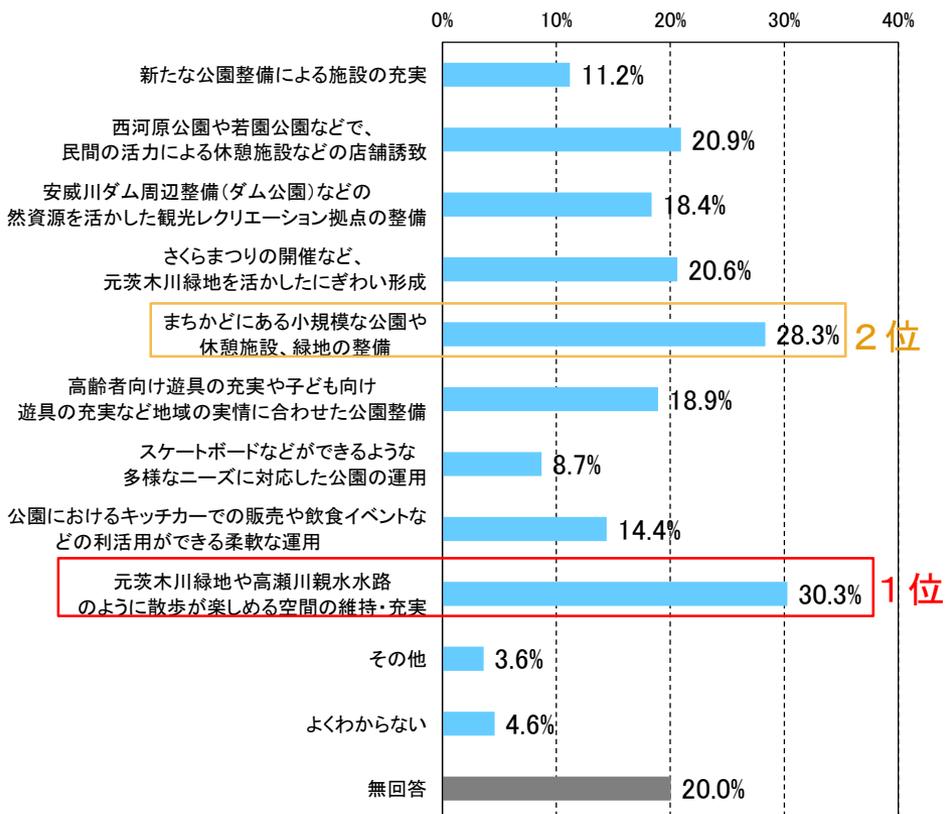
○「特産品開発や農村レストランなどのブランド化」が最も重要視されており、次いで「市街地近郊の里地里山の保全活用」となった。



※回答数/回答者数 (N=1242)

公園・緑地にかかる重要な取り組み

○「元茨木川緑地など散歩が楽しめる空間の維持・充実」が最も重要視されており、次いで「小規模な公園や休憩施設、緑地の整備」となった。



※回答数/回答者数 (N=1242)

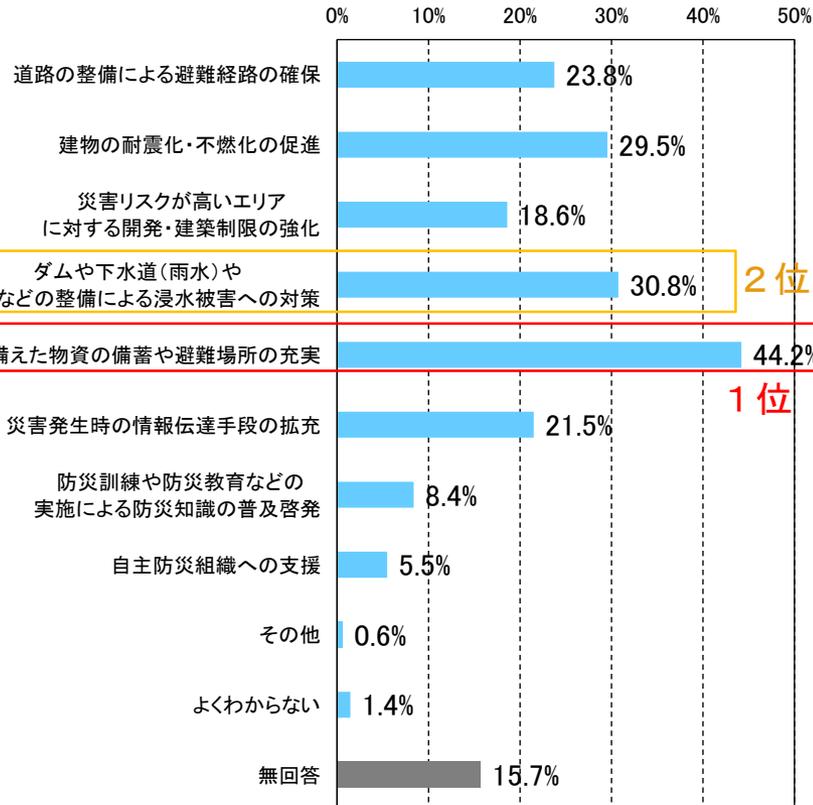
6. 市全体のまちづくりの取組について

防災対策で重要な取り組み

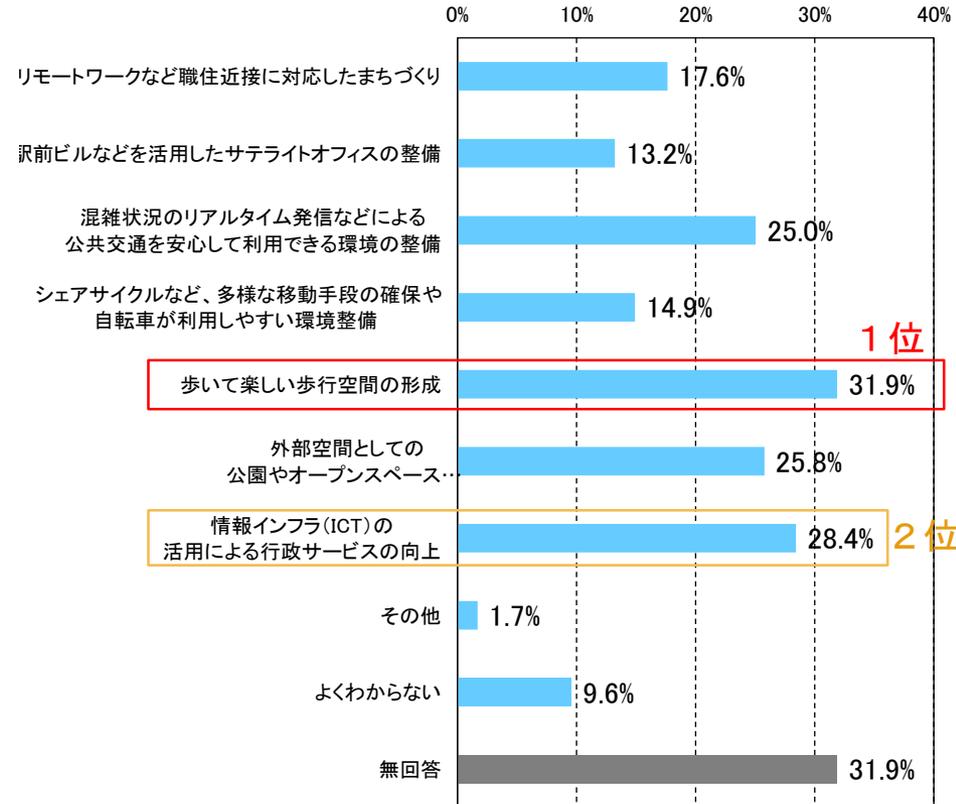
○「災害に備えた物資の備蓄や避難所の充実」が最も重視されており、次いで「浸水被害への対策（ダム・下水道（雨水・河川などの整備）」となった。

ウィズコロナ・アフターコロナにかかる重要な取り組み

○「歩いて楽しい歩行空間の形成」が最も重要視されており、次いで「情報インフラの活用による行政サービスの向上」となった。



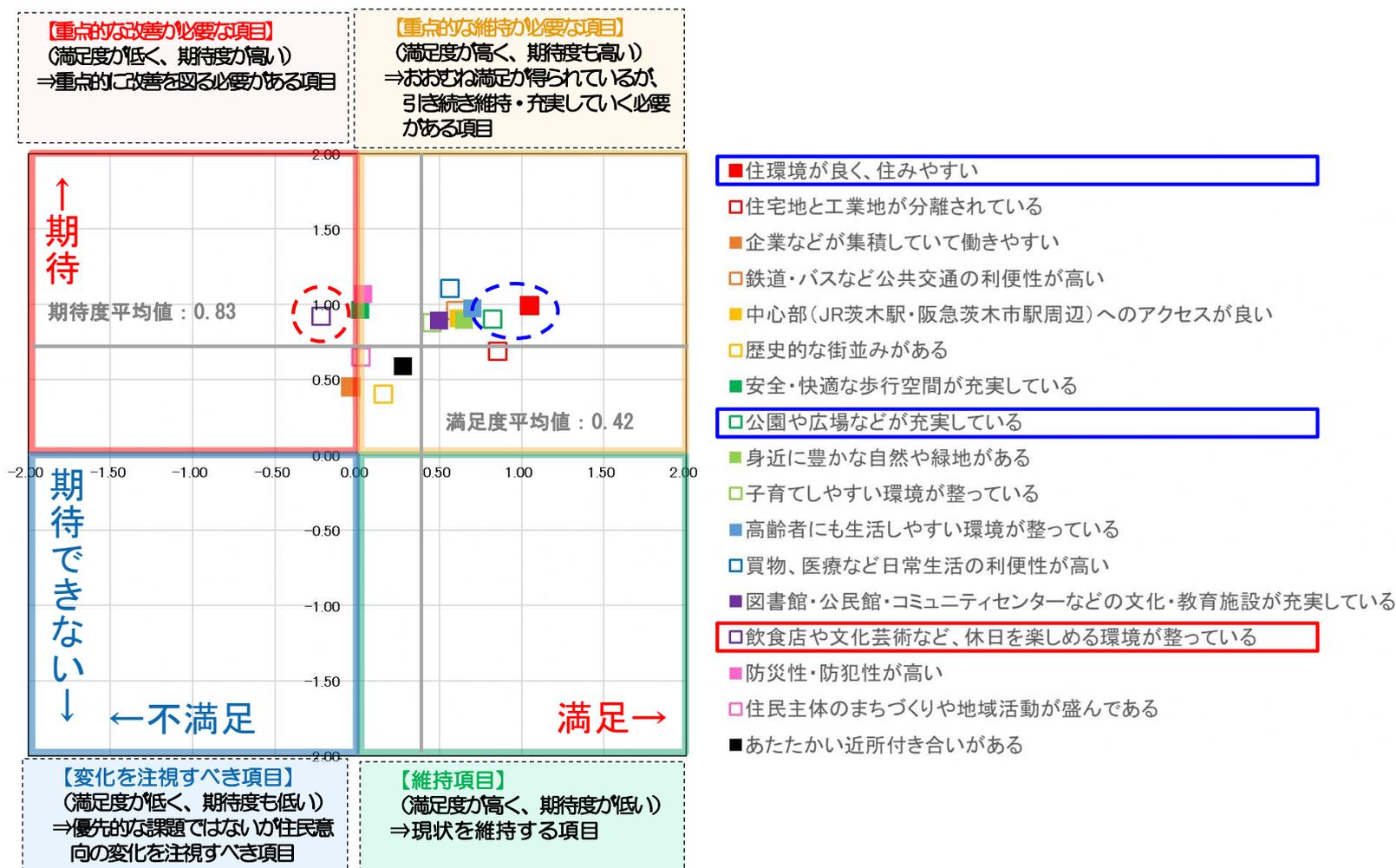
※回答数/回答者数 (N=1242)



※回答数/回答者数 (N=1242)

7. 居住地域の満足度・期待度

- 全体的に満足度が高く期待度も高いゾーンに回答が位置する。
- 特に、「住環境が良く、住みやすい」や「公園や広場が充実」など、が高い傾向にある。
- 「飲食店など休日も楽しめる」の満足度がやや低い傾向にある。



7. 居住地域の満足度・期待度

- 「日常生活に必要な店舗・コンビニ」や「レストラン・居酒屋などの飲食店」のニーズが全駅共通して高い。
- 「病院・診療所」に対するニーズはJR茨木駅、JR総持寺駅、阪急茨木市駅が高い。
- 「銀行や郵便局」に対するニーズはJR総持寺駅やモノレール停車駅が高い。

最寄り駅（よく使用する駅）

JR		阪急			モノレール					
茨木駅	総持寺駅	茨木市駅	南茨木駅	総持寺駅	彩都西駅	豊川駅	阪大病院前駅	宇野辺駅	南茨木駅	沢良宜駅
413	78	359	174	65	37	11	15	5	7	15

(N=1179)

最寄り駅（よく使用する駅）にあったら良いと思う施設

1位

2位

3位

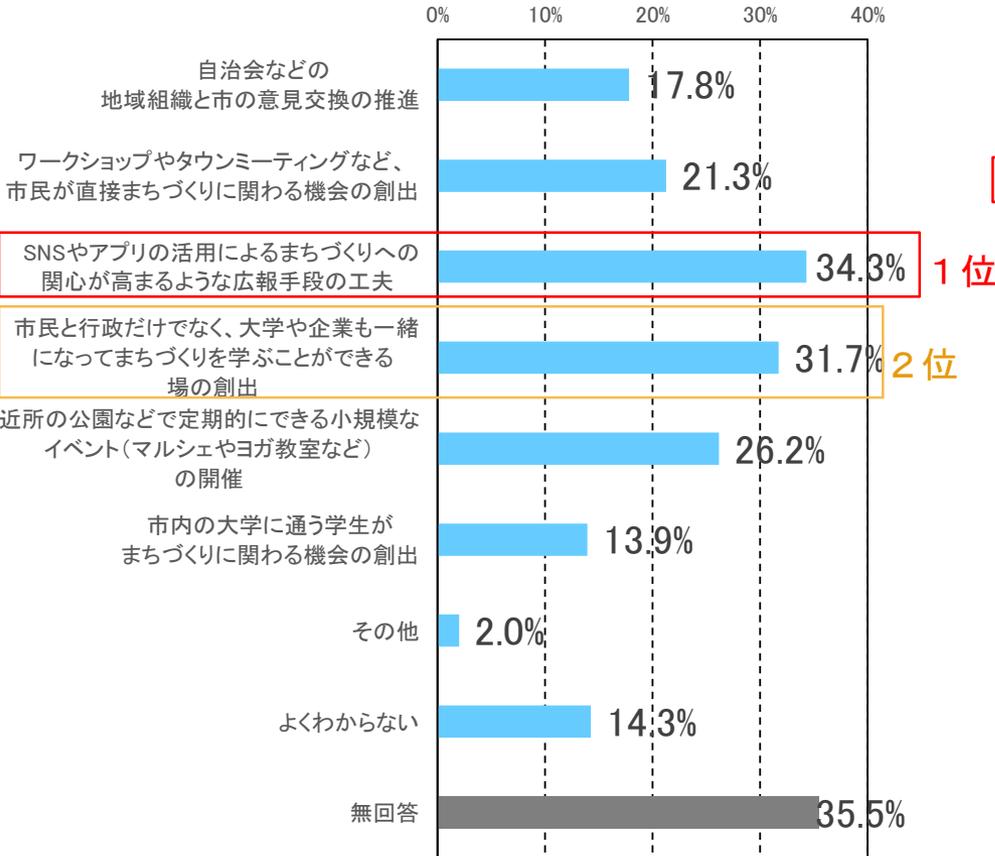
	JR		阪急			モノレール					
	茨木駅	総持寺駅	茨木市駅	南茨木駅	総持寺駅	彩都西駅	豊川駅	阪大病院前駅	宇野辺駅	南茨木駅	沢良宜駅
日常生活に必要な店舗・コンビニなど	45.0%	35.9%	42.1%	39.1%	40.0%	29.7%	45.5%	53.3%	40.0%	57.1%	26.7%
大規模な商業施設	29.5%	33.3%	35.4%	29.3%	30.8%	16.2%	18.2%	26.7%	0.0%	14.3%	40.0%
銀行や郵便局	32.9%	46.2%	29.0%	33.3%	43.1%	32.4%	54.5%	40.0%	0.0%	42.9%	40.0%
保育所・幼稚園などの子育て支援施設	17.9%	15.4%	12.5%	12.1%	12.3%	2.7%	18.2%	0.0%	20.0%	0.0%	6.7%
デイサービスなどの福祉施設	14.5%	11.5%	12.0%	12.1%	10.8%	10.8%	0.0%	6.7%	20.0%	14.3%	6.7%
病院や診療所	38.7%	41.0%	39.6%	31.0%	29.2%	24.3%	27.3%	20.0%	20.0%	14.3%	26.7%
図書館などの教育施設	23.7%	24.4%	22.0%	27.0%	10.8%	21.6%	27.3%	26.7%	20.0%	28.6%	13.3%
文化会館などの文化施設	9.9%	9.0%	8.6%	11.5%	3.1%	13.5%	0.0%	13.3%	0.0%	14.3%	6.7%
公園や広場	30.8%	24.4%	28.1%	28.7%	24.6%	0.0%	36.4%	6.7%	20.0%	42.9%	20.0%
旅館・ホテルなどの宿泊施設	9.0%	10.3%	12.3%	8.0%	4.6%	2.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
レストラン・居酒屋などの飲食店	40.2%	57.7%	34.0%	35.6%	44.6%	37.8%	63.6%	46.7%	40.0%	57.1%	33.3%
映画館・カラオケなどの娯楽施設	13.8%	25.6%	20.3%	21.8%	21.5%	13.5%	36.4%	26.7%	0.0%	42.9%	20.0%
駐車場・駐輪場	27.4%	29.5%	31.2%	17.8%	20.0%	13.5%	18.2%	6.7%	20.0%	28.6%	6.7%
共同オフィス(コワーキングスペースなど)	8.7%	5.1%	9.7%	9.2%	6.2%	2.7%	9.1%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
公民館・コミュニティセンター	6.1%	2.6%	5.3%	6.3%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4.1%	6.4%	3.1%	2.3%	4.6%	10.8%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
特になし	4.8%	6.4%	1.7%	2.3%	1.5%	2.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%

(N=1179)

8. 市民参画について

市民がまちづくりに参加するために必要な取り組み

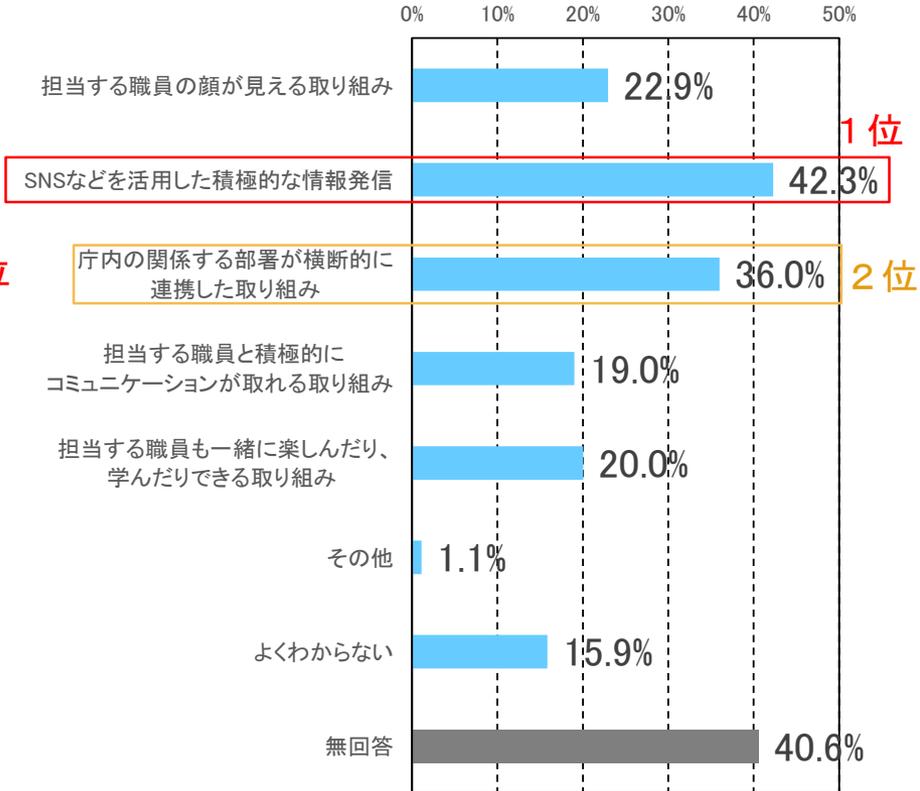
○「SNSなどの活用による広報手段の工夫」が最も重視されており、次いで「市民・行政・大学・企業が一緒にまちづくりを学ぶ事が出来る場の創出」となった。



※回答数/回答者数 (N=1242)

市民参加にかかる職員に対する要望

○「SNSなどを活用した積極的な情報発信」が最も重視されており、次いで「庁内の関係する部署が横断的に連携した取り組み」となった。

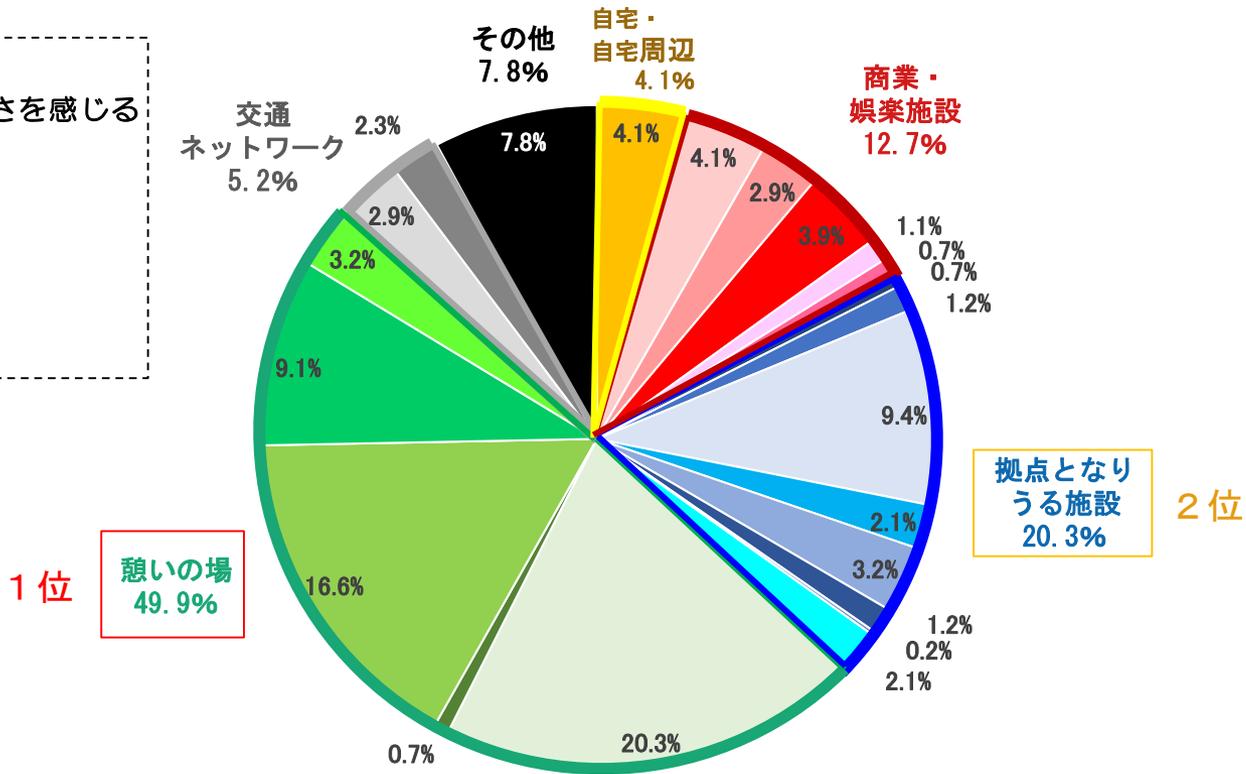


※回答数/回答者数 (N=1242)

9. 市内で幸せや豊かさを感じる場所・場面／自由記述

○「憩いの場」の割合が最も多く、次いで「拠点となりうる施設」となった。
 ○「憩いの場」のうち特に「公園・広場」の割合が最も多く、次いで「元茨木川緑地」となった。

【分類方法】
 561件の市内で幸せや豊かさを感じる場所を
 ・自宅・自宅周辺
 ・商業・娯楽施設
 ・拠点となりうる施設
 ・憩いの場
 ・交通ネットワーク
 の5つに分類した



- 自宅・自宅周辺
- 大規模集客施設
- 商店街
- 飲食店
- その他の店舗
- 娯楽施設
- 市役所
- 市民会館跡地
- 交流施設
- 運動施設
- 都市施設
- 福祉施設
- 教育施設
- その他の公共施設
- 公園・広場
- 田畑
- 元茨木川緑地
- 河川敷
- その他の自然環境
- 駅
- 道路・散歩道
- その他

※一つの意見で複数の区分に該当する意見はそれぞれカウントした

9. 市内で幸せや豊かさを感じる場所・場面／自由記述

場所	内容	
自宅・自宅周辺 (23件)	●家族とゆっくりしている時 ●寝たり、リラックスしたり、ゆっくりしている時間がいちばん幸せな時間 ●10人くらい集まって一緒にグラウンドゴルフをするとき(隣の空き地)	
商業施設 娯楽施設 (71件)	大規模集客施設	●お買い物の子供としている時 ●家族で買い物をしたり、外食をしたいとき ●イオンで弁天花火見てる時
	商店街	●家族でブラブラできる ●家族でゆっくりあそんだりお店をみてまわったりして会話がはずむとき
	飲食店	●友達と会話や勉強をするとき ●1人でコーヒーを飲んだり周囲の環境も含めて静かでのどかな風景を楽しんでいるとき
	その他の店舗	●パンを購入して家で食べる時 ●近くに豊富に通える便利な場所があって幸せだと思う
	娯楽施設	●仕事帰り、又友人と共に利用している時(温泉施設) ●自然があり、バーベキューなど出来る場所でBBQをする時
拠点に なりうる 施設 (114件)	市役所	●家族で散歩をしているとき(イバラボ)
	市民会館跡地	●屋間、公園のような図書館をいろんな世代が使用しているとき
	交流施設	●参加意識、自分の存在感などが感じられる時 ●イベントに参加した時
	運動施設	●仲間と楽しくテニスしている時 ●友人とスポーツを楽しんでいる時 ●サークル教室で過ごす時間
	都市施設	●橋の上を自転車に乗り風を感じる時 ●ベンチに座り、ゆっくりと呼吸のできる(ダム)
	福祉施設	●シニアカレッジの皆と楽しく活動している時。友達とランチしたりお茶をのみながらいろいろとおしゃべりしている時がとても楽しい。
	教育施設	●散歩や買い物で歩いているとき(大学広場) ●友人とカフェでお茶をのみながら、オープンな公園をみて風を感じるとすがすがしい(立命館大学)
その他公共施設	●本を選んでいる時、予約していた本を受け取りに行く時(図書館)	
憩いの場 (280件)	公園・広場	●いろいろなバラを見ている時(バラ園) ●のんびりと散歩したりグラウンドでのスポーツ観戦を楽しんでいるとき(西河原公園) ●四季を感じながら犬の散歩をしているとき(耳原公園)
	田畑	●畑作業がすきなだけ出来る時間が確保した時 ●田んぼのある場所を散歩すると季節感が非常にある
	元茨木川緑地	●桜を眺めながら歩いている時 ●ウォーキングをしながら木々花々を見ながら体力強化を計っている時 ●四季の移り変わりをを感じる時
	河川敷	●魚や鳥のさえずりを聞く時 ●ラジオ体操をしている時 ●夫婦で語りながら散歩している時
	その他の自然環境	●棚田と山の風景が美しい ●整備されつつある山間部を夫とサイクリングしている時に幸せを感じる
交通 ネットワーク (29)	駅	●学校やバイトで夜遅くに自転車をこいでいても駅が明るくて怖さを感じないとき。 ●他駅から帰ってきた時
	道路・散歩道	●車を運転している時 ●家族でドライブ。故郷の風景に似ていて、心が温かくなります。
その他(44)	●早朝、夫婦で鳥のさえずりや木々の彩り、作物の成長を楽しみながら散歩しているとき。(神社) ●家族や友人が集まれる場や外でのコミュニケーションできる時(サイトの町)	

(合計561件)

10. まちづくりに対する意見・アイデア／自由記述

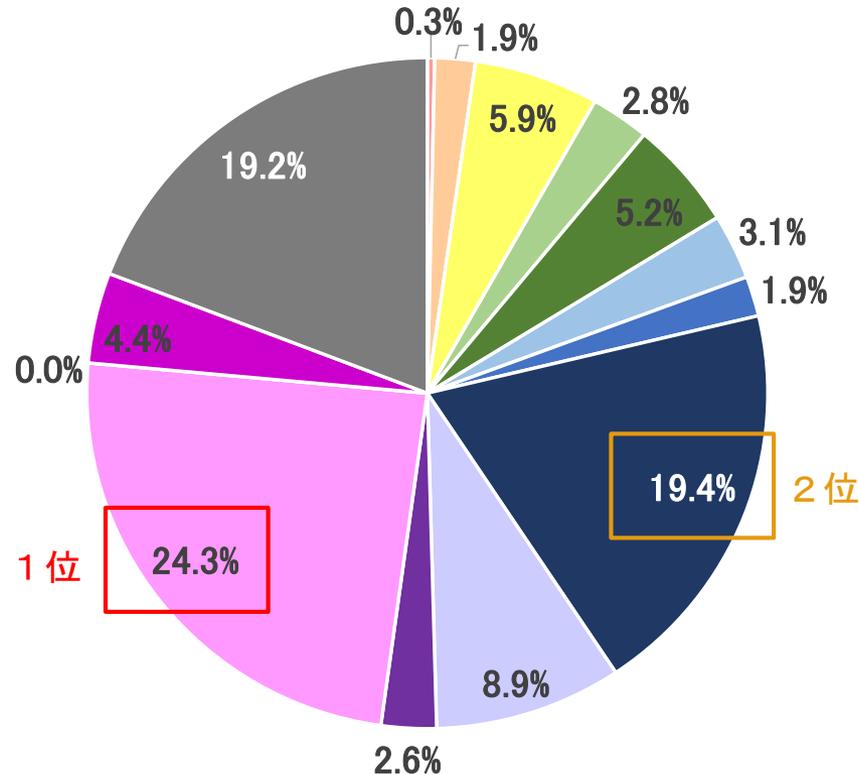
まちづくりに対する意見・アイデア

※1つの意見で複数の区分に該当する意見はそれぞれカウントした

○「地域と暮らしを支える交通システムを構築する」にかかる意見・アイデアが最も多く、次いで「暮らしを支える「拠点」を活性化する」となった。

【分類方法】

500件の意見・アイデアを「都市づくりの13のテーマ」の内容を踏まえて分類した



- 広域的な機能とネットワークを担う都市基盤施設等の整備を進める
- 既存ストックの有効活用を進める
- 良好でうるおいのある住環境の形成を進める
- 都市の活力を高める産業を創り、守り育てる
- 憩いと癒しの空間を守り、つくる
- 地域と暮らしを支える交通システムを構築する
- 市民・民間によるまちづくりを進める
- 無秩序な開発を抑制し、計画的な市街地整備を進める
- 暮らしの安全・安心を確保する
- 多様な暮らしを支える住宅をつくり、住み継ぐ
- 暮らしを支える「拠点」を活性化する
- まちの資源を活かした個性ある景観の形成を進める
- 人と環境にやさしい都市づくりを進める
- その他

まちづくりに対する意見・アイデア

※1つの意見で複数の区分に該当する意見はそれぞれカウントした

①広域的な機能とネットワークを担う都市基盤施設等の整備を進める	2
●インバウンドの受け入れや空港、新幹線へのアクセス強化	
②無秩序な開発を抑制し、計画的な市街地整備を進める	11
●短期メリットだけでのタワーマンションはやめてほしいです。20年後、30年後、子供達が住みたいと思う、自然と商業が バランスのいい街づくりを望みます。	
●JRも阪急も駅前のごちゃごちゃした建物や道はさっさと壊して整備する。	
③既存ストックの有効活用を進める	34
●地域の高齢化が激しく今後家の周りが空き家だらけになるのではないかと心配	
●公園の数は多くて助かるが、遊具が古かったり小さい子には危なかったりすることも多い。	
●空家対策をすることで新しい人が入ってくるので「新しいまち」が出来ると思います。	
④暮らしの安全・安心を確保する	16
●まずは安心・安全な街づくり。 防災が機能する街づくりが最優先。 ●特に桜通りなど外灯も少なく夜は少し怖いので、防犯に力を入れていただきたい	
●市内（町中など）いたるところで夜でも安全・安心のように明るく街灯の整備（LEDにする事）を充実してほしい	
⑤良好でうるおいのある住環境の形成を進める	30
●桜通りの名にふさわしい桜の木の成育をお願いしたい ●茂木は緑も多く、20年以上気持ちよく過ごしています。	
●賑やかな場所はより賑やかにしてもらいたいです。住宅街やまちかどの小さな公園などは、長閑な雰囲気を保ってほしいと思います。	
⑥多様な暮らしを支える住宅をつくり、住み継ぐ	18
●障がい者、人種的、性的マイノリティの方など、社会的弱者と呼ばれる立場の人たちにとって住みよい街は必然的にすべての人にとって住みやすい街になると考えているので、立場の弱い人たちにこそ寄り添ったまちづくりを望みます。	
●駅周辺には若い人達が住みやすいワンルームやツールームのより良いマンションを拡充し、駅郊外では中高年向けに部屋数の少ないゆったりした一戸建やマンションを建て、その中間地域に部屋数の多い子育て世代向けの住宅を作してほしいです。	
⑦都市の活力を高める産業を創り、守り育てる	11
●大企業誘致して雇用創出 ●箕面の開発に負けないようIT、医療研究開発の会社を取り込んでいきましょう	
●倉庫のある物流拠点もありと思いますし、円安が続いているので企業の国内回帰を見越して工場の誘致もありだと思えます。	
⑧暮らしを支える「拠点」を活性化	111
●歩きやすい道（段差などバリアフリー）子供が思いっきり走りまわられる空間、高齢者の方々も出かけたくなる空間を作って欲しい	
●公共施設が遠くて、年配の人は参加できてない。 ●公共施設（公園）の駐車場の拡張	
⑨憩いと癒しの空間を守り、つくる	51
●日常、休日のちょっとした時間に家族や友達ふらっと行ける癒し場所が欲しい	
●中心部の活かし方と郊外の緑部の活かし方が全くなされていないので改善して欲しい	
●有料でバーベキューをできる河川公園等を整備してほしい。（安威川でバーベキュー施設など）	
●人とのコミュニケーションを増やすのに、アウトドアの出来る場所(里山)のような場所が欲しい	
⑩まちの資源を活かした個性ある景観の形成を進める	15
●街はどんどん発展し高層マンションが立ち並び、町の景観がそこなわれています。	
●茂木は歴史の古いまちです。まちづくりにあたっては、もっと、市内の歴史的な遺産を生かして、文化的な面も発信できることを期待する。	
●耐震木対応の建物で営業されている店がありますが、安全面及び景観もふさわしくないと感じます。	
⑪地域と暮らしを支える交通システムを構築する	139
●自転車が車道を走るのははくから通行区分別けがしてあってもあぶない。なんとか安全な方法を考えてほしい。	
●現在住んでいる地域からは車なしでは市の中心地まで行くにも遠さを感じています ●交通渋滞の緩和の強化 ●レンタサイクルを充実させてほしい	
●障害者なので車で移動しても駐車場に車をおいてみ目的の場所まで歩く事が少し大変です。車イスetcなど利用できる物が整っている所が多数あれば足をのばせると思います	
⑫人と環境にやさしい都市づくりを進める	0
⑬市民・民間によるまちづくりを進める	25
●立命館大学で学生とのまちづくり・大手企業との地域参加型コミュニティー ●教育施設の有効活用（幅広い世代の人に活動をPRするなど）	
●ICTで遅れをとることなく、超高齢社会のための整備や理解を得る作業を迅速、積極的に行ってほしいです。	
●人のコミュニケーションの場づくりですね。民間の人的支援を活性化する方法をどんどんやってほしい	